



録画配信はこちら

職員定数の見直しは何を基準に増員するのか

Q 的確な業務執行を図るための職員定数は

A 幹部職員と担当課長とのヒアリングおよび環境を取り巻く情勢で総合判断

問 現在の町の職員定数の算出の考え方はどのようなものか。

答 (経営戦略課長) 職員定数とは、行政サービスの提供に必要な人員を確保するための基準であり効率的かつ効果的な行政運営を実現するために重要な要素だ。そのための考え方については、単に各部署の積み上げにより決定されるものではなく、組織全体の重要戦略や各種政策による業務内容の質や量、さらには地域住民のニーズに対応することや、社会情勢の

問 今年度、各課の所掌事務を執行するのに必要と見込んで、組織全体のいる人数は195人である。

答 (経営戦略課長) 現在の職員定数は196人であり、予備人員が1名しか余裕がなく来年度以降の業務量等による必要数に見合うよう上程するものである。増員する人員は、合計24名でその内訳は次のとおり。

議会事務局	増員なし
町長部局	19名増員
教育委員会部局	5名増員

問 職員定数の数を算出する根拠は何か。

答 (経営戦略課長) 適正な定数の算定については個別の事務単位ごとに事務量を測定し、積み上げて算定する方法もありますが、それには多大な時間と労力コストがかかることから本町では採用していない。またほかに代表的なものとして類似団体との比較による方法もあるが異なる地域事情等を詳細に反映することは困難であると考えている。今回の定員の考えについては、明確な適正定員を算定することは非常にむずかしい部分があるが、類似団体との比較からおおよその適正人員を算定し参考にするとともに、既存の人員配置をベースに所属ごとに職員幹部と担当課長との間でヒアリングを行い、必要人員数を検討して、町長に承認していただき算出している。また、職員定数には余剰人



課内の朝礼の様子



問 今回、24名の増員は部局単位に大枠で示してあるが、定年退職にかかわる新規採用や期間が決まっている発生する一過性の業務などは、定数の算定の対象から除くべきと考えるがその点について尋ねる。

答 (経営戦略課長) 定年退職による新規採用にかかわることについては、令和5年度から段階的に退職年齢が引き上げられるに伴い、退職者を補充するためのものと併せて年齢構成の偏りや事務の継続性の確保に影響が生じることが懸念されるものである。また、今回、国スポ・障スポなど一過性の業務についてもすべてが対象としているわけではなく他に増加する業務なども含めて算定している。

あなたの1日プロデュース事業

Q 来年度からの事業実施に向けて進捗と見通しは

A 要望活動を行いヒアリングを受け、現在調整中



録画配信はこちら

問 段ボールコンポストの2回の講習会の目的と状況は。

答 (くらし安全環境課長) ①目的は、生ごみの堆肥化で資源として活用できることを学び、家庭ごみ減量の実践につなげる。2回とも20人以上が参加。地球温暖化やごみと自然環境に関わる講義を聞いた後、段ボールコンポストを作成し土が生ごみを堆肥化する仕組みを学んだ。

②講習会を継続し、また家庭のコンポストで作った堆肥を使った野菜作り講習会を実施し、情報を共有しネットワークを作ることで持続的なごみ減量の取り組みにつなげたい。

問 近江鉄道の定期代補助

答 (経営戦略課長) 職業訓練に通っている方にも、近江鉄道と路線パスの通学定期券購入補助金事業の対象者に加えることを求める。

問 あなたの1日プロデュース事業

答 (福祉課長) 事業の財源を確保するため、知事や県議会への要望活動、内閣府相談会においても、「地域共生社会」推進の取り組みの一助である旨の説明をした。今後、国の交付金の獲得を目指していく予定。社会福祉協議会とも協議しながら予算計上のタイミングも含め、現在調整中。

問 冷暖房費の補助

答 (福祉課長) 高齢者・ひとり親世帯への冷暖房費補助の実施を求める。

問 2025年問題と交通手段

答 (くらし創生課長) 2025年には、国民の5人に1人が後期高齢者の超高齢化社会を迎える。2025年問題を抑えて、高い値段で乗れる町内巡回自動車の設定を求める。

問 見守りおむつ宅配便

答 (子ども支援課長) 子育て支援策として見守り・経済的支援や相談事業を行っているので、定期的なおむつの宅配は考えていない。

問 秦荘支所について

答 (子ども支援課長) 子育て支援策として見守り・経済的支援や相談事業を行っている。9月17日から愛知川が本庁舎、秦荘が支所になった。①支所に来た全ての方が支所



秦荘支所(仮設)

で用事を済ませることができたのか、あるいは本庁舎に行っていたことがあったのか。②支所の職員の配置は何人か。適切な人数か。③問題点と今後の課題は。④建物内の支所以外のスペースをフル活用するための方法は。